

塩津地区 かわら版 第5号

塩津地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

将来の塩津地区と公共施設の姿について、地区の皆様とともに考えています。

蒲都市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため、「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、塩津地区にある公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来について、地区にお住まいの皆様と協働で考えていく機会として、「塩津地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催してきました。

2月3日(土)に塩津公民館にて、最終回となる第5回ワークショップを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われてきた内容等についてのご意見を引き続き募集しています。最終ページの「ご意見募集」をご参照の上、ご意見をお寄せください。

検討の進め方

蒲都市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆様からいただいたご意見を反映させた、塩津地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。下図のように段階的に検討を進めています。第5回ワークショップでは、施設の再配置プラン案を比較しながらどの案が塩津地区の将来の姿としてふさわしいかについて話し合い、施設の再配置を実施後に運営面等で配慮しなければならない事項（付帯事項）についても意見を出し合いました。

進め方の
確認

地区の課題の
抽出

施設再配置
プランの検討

施設再配置
プランの比較

塩津地区個別
計画の策定

第5回ワークショップ 2月3日(土)開催

これまでのワークショップの検討を踏まえ、将来の塩津地区の公共施設の配置としてふさわしい案について話し合いました。



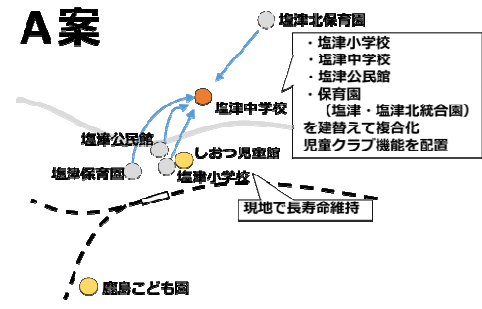
地区内の小中学校・保育園・児童館・公民館の配置や活用方法を定めます。

7つの再配置プラン案をもとに比較検討を進めました。

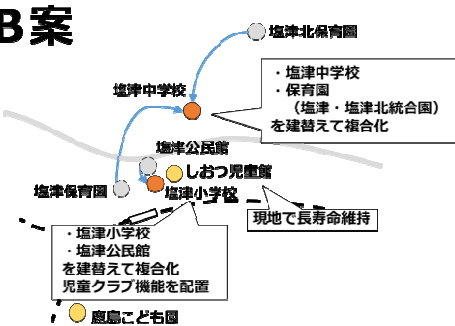
これまでワークショップでは、地区の将来像や課題について話し合い、それをもとに7つの再配置プラン案を作成し、比較検討を進めました。

● 複合化・集約化 ● 存続 ● 廃止・解体・跡地利用

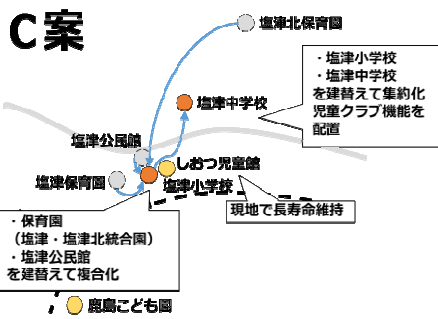
A案



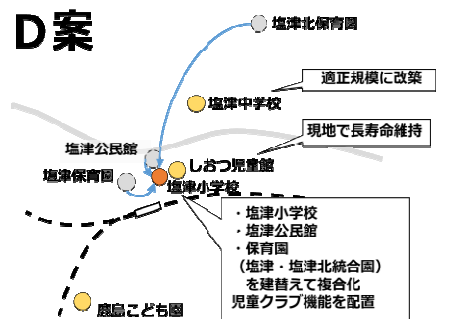
B案



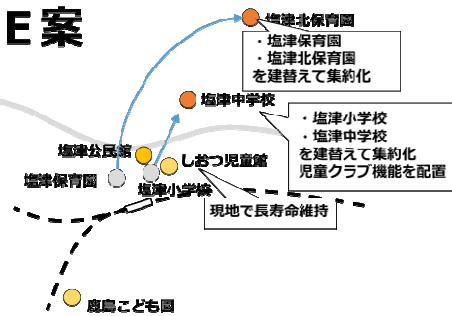
C案



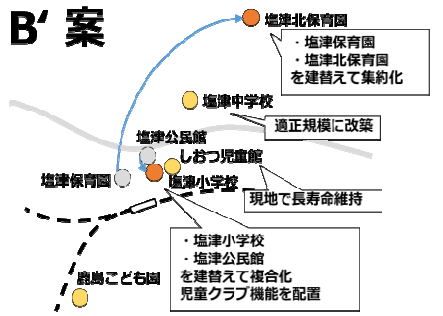
D案



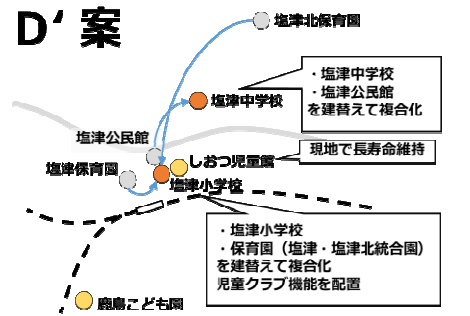
E案



B'案



D'案



ワークショップの中で皆様が重視したこと

ワークショップでは塩津地区の皆様が集まっていただき、地区の課題やその解決方法について話し合いを行ってまいりました。第5回ワークショップでは、これまでの検討を踏まえ、将来の塩津地区の公共施設の配置としてふさわしい案を検討していただくとともに、何を重視してその案を選んだか意見を出し合い、整理を行いました。

ワークショップに参加された地区の皆様が塩津地区の将来を考える上で重視していたことについて、ご意見を以下にまとめました。

子育て環境の充実

- 地区内の公立保育園は3歳未満児の保育や延長保育が実施されていないので、利用者が少ない。
- 地区内の保育園に通わせることができると小さいときから子どもの交流ができて安心。
- 児童クラブの定員がいっぱいで入れなかったり、1年生だけは保育園ですごさないといけない現状を改善してほしい。

子どもたちの交流

- 保育園や小中学校の複合化により、異なる年齢の子どもたちの交流ができるとよい。
- 保育園の統合や小学校との複合化により、イベントを合同で実施でき、賑やかになりそう。

多様な方々の交流

- 公民館と学校や保育園を複合化することで、多世代交流が生まれ高齢者の生きがいにもつながる。
- 公民館を多世代・多国籍の集まる施設にしたい。

地域・交流の拠点

様々な方が使いやすい施設

- 交流の場は、高齢者や障がい者も使いやすい方がよい。

施設の相互利用

- 公民館活動で学校の体育館やグラウンド、調理室が利用できるとよい。

地域活動の拠点

- 地域の行事や活動を一体的にできる場作りが必要。
- 学校を核に地域の拠点を作れば子どもから大人まで集まるのではないか。

学校の機能確保

- 学校の教室以外（体育館・グラウンドなど）で行う体育や部活などが十分にできるかが重要だ。
- 中学生が学習に集中できる環境が大切。

子育て

通学しやすい

- 小学校が中学校の敷地に移転すると、鹿島や拾石の子どもたちの通学が大変になってしまう。

施設へのアクセス

集まりやすい場所

- 地区の中心に位置していると人が集まりやすい。

送迎の利便性

- 塩津保育園は山の上であり不便。
- 保育園や児童館、小学校は小さい子を持つ親にとって送迎しやすい立地にしてほしい。
- 保育園と小学校が一緒があると送迎が楽になり、負担が少なくなる。

アクセスしやすい場所

- 小学校周辺は地区内で一番アクセスがよいので、利便性が高い。
- 高台に公民館があると移動が難しい。
- 高齢者や車を使わない人のために公民館は駅の近くがよい。

子どもの安全

- 通学と保育園の送迎の車が混ざると危険。

防災

- 災害時と日常の利便性が取れたプランが考えられるとよい。

安全

機能の確保

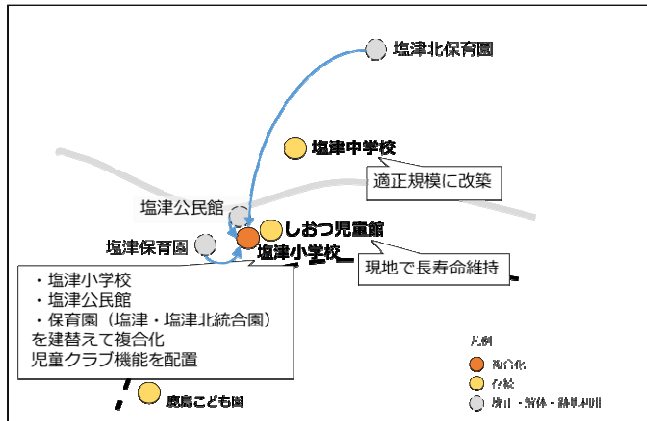
- どんなプランでも体育館や駐車場などの機能が十分確保されることが重要。

保育園の利便性や小学生の通学など「子育て」に関するご意見や、地区活動の拠点など「地域・交流の拠点」に関するご意見を多くいただきました。

もっとも期待の大きかったプラン

子育てしやすさや地域の交流・活性化の観点から、D案に対する期待の声が多く集まりました。

D案 多様な方々の交流と充実した子育ての拠点をつくるプラン



〈概要〉

- 塩津小学校に塩津・塩津北保育園の統合園と塩津公民館を複合化し、子育てと地域の活動や交流の拠点を形成します。
- 塩津中学校は現地で適正規模に改築します。
- しおつ児童館は現地で長寿命維持します。

評価されたポイント

- 保育園の統合・小学校との複合化による**子育て環境の充実**が期待できる。
- 複合施設における利用者間の**交流**や**施設の相互利用**が期待できる。
- 様々な方が集まりやすい、**地域活動の拠点**の形成が期待できる。
- **アクセスしやすい場所**に施設が集中しており、**送迎などの利便性**が高まる。
- 小学生の**通学しやすさ**が保たれる。

選んだ理由や期待すること

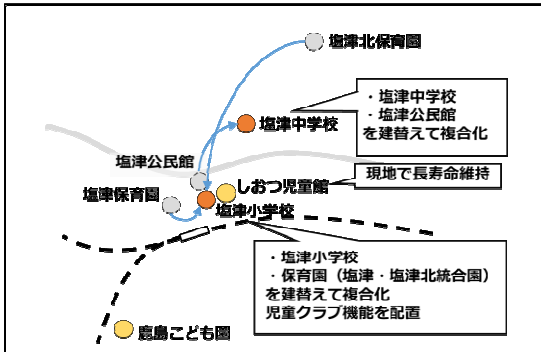
- **子育て環境の充実**
 - ・2つの保育園が統合され、規模が拡大されることで延長保育や低年齢児保育などサービスの向上が期待できる。
 - ・保育園の園児が少なく寂しい感じがするが、統合・小学校と複合化することで、賑やかになって園児の教育にもよいのではないかと。
 - ・保育園と小学校が複合化されることで、卒園後にスムーズに小学校の生活に入れる。
- **施設利用者の交流**
 - ・子どもから高齢者まで多世代が交流できる。
 - ・保育園と公民館が一緒にあると、高齢者が園児に昔遊びを教えるなどの交流ができる。
 - ・保育園と小学校が複合化されれば園児と児童の交流ができる。
- **施設の相互利用**
 - ・複合化により管理が一元化されることで、施設の開放など柔軟な対応ができるようになり、利便性が増す。
- **地域の行事は公民館が中心になり、小学校の敷地を利用して行っているのが公民館と小学校が複合化されると地域の行事が引き続きやりやすい。**
- **小学校の施設・グラウンドで公民館の活動が引き続き行える配置になっているのが良い。**
- **アクセス**
 - ・公民館が駅から近く、車のない人にとっても便利だ。
 - ・小学校や保育園、児童館が近くなることで小さな子どもたちの送迎がしやすくなる。
- **小学生の通学のしやすさ**
 - ・小中学校の位置が現状のままなので通学距離が変わらず、子どもたちに負担がかからない。
- **その他**
 - ・孫見たさに公民館に行く人が増え、公民館活動の活性化が期待できる。
 - ・小学校から中学校へは環境の変化があった方がよく、別々になっている方がよい。

付帯事項（運営面等で配慮すべきこと）

- **施設の相互利用**
 - ・体育館やグラウンドなどの小学校施設を公民館としても利用できるようにするなど、お互いの施設を有効に使えるよう配慮してほしい。
- **安全の確保**
 - ・子どもたちと他施設を利用する人の車が接触しないか心配なので、出入口を分けるなど工夫が必要。
 - ・各施設の入口を分けて、防犯上の対策をとる。
 - ・園児と児童の事故防止のための対策が必要。
- **機能の十分な確保**
 - ・グラウンドや園庭・駐車場など各機能の確保が必要。
- **子育て環境の充実**
 - ・児童クラブの充実をして欲しい。
 - ・保育園は民営化も含め運営方法を検討して欲しい。
- **その他**
 - ・複合施設に喫茶店を入れるなど、今よりも人が来やすく、交流を促進するための工夫が必要。
 - ・鹿島こども園などから進学する子どもたちが既にコミュニティが形成されている小学校に入学することでいじめなどの問題が発生しないか。

その他の案に対する期待

D'案 D案の公民館の位置を変更したプラン



- ・塩津小学校に塩津・塩津北保育園の統合園を複合化します。
- ・塩津中学校に塩津公民館を複合化します。

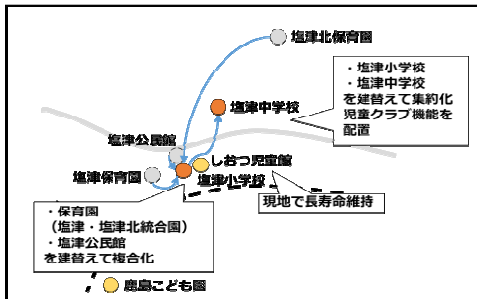
選んだ理由・期待すること

- ・中学校・公民館の複合化により中学生と大人の交流が生まれ、「仕事」や「将来」について考える機会が生まれるかもしれない。子どもの育成に「地域の目」が働く。
- ・中学校の広い体育館を公民館活動で使用できる。

付帯事項（運営面等で配慮すべきこと）

- ・中学校と公民館が複合化されるメリットを生むために、公民館を多世代が訪れる場にする必要がある。
- ・公民館が中学校敷地の高台に移るので、徒歩の人や高齢者のことを考え、アクセス面での対策が必要になる。

C案 教育の拠点とアクセスしやすい地域活動の拠点をつくるプラン



- ・塩津小学校の敷地に塩津・塩津北保育園の統合園と塩津公民館を複合化します。
- ・塩津中学校に塩津小学校を集約化します。

選んだ理由・期待すること

- ・小中学生が互いに意識しあうことで良い影響が生まれる。
- ・小中学校が集約化されれば、部活の統一などの連携ができ、子どもにとってよい影響があると思う。

A案 中学校敷地に施設を集中させるプラン



選んだ理由・期待すること

- ・高台に施設が集中しており、津波時の安全が確保される。

皆様からいただいたご期待をもとに、市は「地区個別計画」を策定します。

いただいたご意見を参考に、市は今後さらに検討を進め、将来の塩津地区の公共施設の配置や活用方法を定める「地区個別計画」を策定します。

たくさんのご意見、まことにありがとうございました。

ワークショップに参加された方をはじめ、オープンハウス（パネル展示型説明会）でのアンケートにご協力くださった方など、これまで多くの方から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただき、まことにありがとうございました。

〈ワークショップに参加してくださった方の感想〉

- ・皆さん、すごくいろいろと考えていらして、この塩津地区が少しでもいろんな世代の方たちが生活しやすい環境になるといいなと思いました。
- ・立場や世代がぜんぜん違う人たちと意見を交わすことで、気づかなかったメリット・デメリットなどを聞くことができたのはとても参考になった。

- ・このワークショップの意見・付帯事項・成果等がどのように生かされていくのか心配。ぜひ前向きに検討・対処頂けるようお願いいたします。
- ・ファシリテーターや事務局の方が「ワークショップであがった市民の意見」を大切にしてくれる姿勢が見られ、参加している側としてはうれしいことです。アリバイ作りのワークショップにだけはして欲しくありません。

ご意見募集

- ワークショップで検討されてきた内容について
- 塩津地区のまちづくりや公共施設について

右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課 公共施設マネジメント担当
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1158 / FAX 0533-66-1183
E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp

ワークショップでのご意見や資料等は、市ホームページに掲載しています。
<http://www.city.gamagori.lg.jp/unit/zaimu/machizukuri-kokyoshitsu.html>